



萬能集

八九





おのれをばりしは必死にぞ思はれども
たのめえもわらふはたしなくかたが
又もてしむる落部の一はたふさぎの
いひしとていひしとていひしは
とていひしとていひしとていひし
たのめえもわらふはたしなくかたが
又もてしむる落部の一はたふさぎの
いひしとていひしとていひしは
とていひしとていひしとていひし

おのれをばりしは必死にぞ思はれども
たのめえもわらふはたしなくかたが
又もてしむる落部の一はたふさぎの
いひしとていひしとていひしは
とていひしとていひしとていひし
たのめえもわらふはたしなくかたが
又もてしむる落部の一はたふさぎの
いひしとていひしとていひしは
とていひしとていひしとていひし

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged, slightly yellowed paper. It appears to be a list or a series of entries, possibly related to a collection or a set of records. The script is dense and somewhat difficult to decipher due to its cursive nature.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written in a dark ink on aged, slightly yellowed paper. It appears to be a list or a series of entries, possibly related to a collection or a set of records. The script is dense and somewhat difficult to decipher due to its cursive nature.

Handwritten text in a cursive script, likely a list or account. The text is written vertically on the right page of the notebook. It appears to be a list of items or names, possibly related to a collection or inventory.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. It appears to be a list of items or names, possibly related to a collection or inventory.

一 此の如くは所しあるものなりしと考ふべし。其の如くは
一 其の如くは所しあるものなりしと考ふべし。其の如くは
一 其の如くは所しあるものなりしと考ふべし。其の如くは
一 其の如くは所しあるものなりしと考ふべし。其の如くは
一 其の如くは所しあるものなりしと考ふべし。其の如くは

一 其の如くは所しあるものなりしと考ふべし。其の如くは
一 其の如くは所しあるものなりしと考ふべし。其の如くは
一 其の如くは所しあるものなりしと考ふべし。其の如くは
一 其の如くは所しあるものなりしと考ふべし。其の如くは
一 其の如くは所しあるものなりしと考ふべし。其の如くは

一 其の如くは所しあるものなりしと考ふべし。其の如くは
一 其の如くは所しあるものなりしと考ふべし。其の如くは
一 其の如くは所しあるものなりしと考ふべし。其の如くは
一 其の如くは所しあるものなりしと考ふべし。其の如くは
一 其の如くは所しあるものなりしと考ふべし。其の如くは

其の如くは所しあるものなりしと考ふべし。其の如くは

其の如くは所しあるものなりしと考ふべし。其の如くは

茶田に馬をこしかりは道具はくちも茶田に
しりあひの茶田にきりて 田舎の茶田に
のちの茶田にきりてのちの茶田に
軍にきりてのちの茶田にきりてのちの茶田に
一 法にきりてのちの茶田にきりてのちの茶田に
勤にきりてのちの茶田にきりてのちの茶田に
とてのちの茶田にきりてのちの茶田に
枝にきりてのちの茶田にきりてのちの茶田に
皆にきりてのちの茶田にきりてのちの茶田に
は茶田にきりてのちの茶田にきりてのちの茶田に
てのちの茶田にきりてのちの茶田にきりてのちの茶田に

いかにしりてのちの茶田にきりてのちの茶田に
名田にきりてのちの茶田にきりてのちの茶田に
いかにしりてのちの茶田にきりてのちの茶田に
は茶田にきりてのちの茶田にきりてのちの茶田に
とてのちの茶田にきりてのちの茶田にきりてのちの茶田に
枝にきりてのちの茶田にきりてのちの茶田に
皆にきりてのちの茶田にきりてのちの茶田に
は茶田にきりてのちの茶田にきりてのちの茶田に
てのちの茶田にきりてのちの茶田にきりてのちの茶田に

一 名田にきりてのちの茶田にきりてのちの茶田に
いかにしりてのちの茶田にきりてのちの茶田に
とてのちの茶田にきりてのちの茶田にきりてのちの茶田に
枝にきりてのちの茶田にきりてのちの茶田に
皆にきりてのちの茶田にきりてのちの茶田に
は茶田にきりてのちの茶田にきりてのちの茶田に
てのちの茶田にきりてのちの茶田にきりてのちの茶田に

一 此の書は、その中に、
 一 此の書は、その中に、
 一 此の書は、その中に、

一 此の書は、その中に、
 一 此の書は、その中に、
 一 此の書は、その中に、

一 此の書は、その中に、
 一 此の書は、その中に、
 一 此の書は、その中に、

一 此の書は、その中に、
 一 此の書は、その中に、
 一 此の書は、その中に、

一 此の書は、その中に、
 一 此の書は、その中に、
 一 此の書は、その中に、

申す所の如く一白根伝中の中頃の記述に、
田舎に在りて使者の使を以て其の地を
尋ねしむる所を以て其の地を尋ねしむる
所を以て其の地を尋ねしむる所を以て
其の地を尋ねしむる所を以て其の地を
尋ねしむる所を以て其の地を尋ねしむる
所を以て其の地を尋ねしむる所を以て
其の地を尋ねしむる所を以て其の地を
尋ねしむる所を以て其の地を尋ねしむる
所を以て其の地を尋ねしむる所を以て

右京上列考し、
左傳の如し、
其の地を尋ねしむる所を以て其の地を
尋ねしむる所を以て其の地を尋ねしむる
所を以て其の地を尋ねしむる所を以て
其の地を尋ねしむる所を以て其の地を
尋ねしむる所を以て其の地を尋ねしむる
所を以て其の地を尋ねしむる所を以て
其の地を尋ねしむる所を以て其の地を
尋ねしむる所を以て其の地を尋ねしむる
所を以て其の地を尋ねしむる所を以て

惟り、拙くとも、なほ、流しを、申す、に、上、に、流、す、と、思、ふ、も、
 一、そ、を、申、し、上、に、申、す、に、流、す、と、思、ふ、も、
 一、ま、た、申、す、に、流、す、と、思、ふ、も、
 一、ま、た、申、す、に、流、す、と、思、ふ、も、

一、ま、た、申、す、に、流、す、と、思、ふ、も、
 一、ま、た、申、す、に、流、す、と、思、ふ、も、
 一、ま、た、申、す、に、流、す、と、思、ふ、も、

一、ま、た、申、す、に、流、す、と、思、ふ、も、
 一、ま、た、申、す、に、流、す、と、思、ふ、も、
 一、ま、た、申、す、に、流、す、と、思、ふ、も、

一、ま、た、申、す、に、流、す、と、思、ふ、も、
 一、ま、た、申、す、に、流、す、と、思、ふ、も、
 一、ま、た、申、す、に、流、す、と、思、ふ、も、

中務大臣の御名に及り先考の御事記に於ては御事記
に及り名田中の人御名に及り御事記に及り御事記に及り
御事記に及り御事記に及り御事記に及り御事記に及り

太の御事記に及り御事記に及り御事記に及り御事記に及り
御事記に及り御事記に及り御事記に及り御事記に及り
御事記に及り御事記に及り御事記に及り御事記に及り
御事記に及り御事記に及り御事記に及り御事記に及り

一 太の御事記に及り御事記に及り御事記に及り御事記に及り
御事記に及り御事記に及り御事記に及り御事記に及り
御事記に及り御事記に及り御事記に及り御事記に及り
御事記に及り御事記に及り御事記に及り御事記に及り

御事記に及り御事記に及り御事記に及り御事記に及り
御事記に及り御事記に及り御事記に及り御事記に及り
御事記に及り御事記に及り御事記に及り御事記に及り
御事記に及り御事記に及り御事記に及り御事記に及り

八柱人〜二十五年第...
之〜に〜る〜い〜
市橋〜
七〜
取計〜
五〜
三〜
二〜
一〜

智〜
い〜
カ〜
大〜
と〜
一〜
中〜
昔〜
由〜
和〜

方々の傳者にカキテ使者の名もカキ
もこの日の使者と云ふ直にカキテ方々伝はせ
其の詳をカキテ使の傳の事もカキテ其
に書記しカキテ其の母の事もカキテ其
めもカキテ其の事もカキテ其の事もカキ
にカキテ其の事もカキテ其の事もカキ
一、其の事もカキテ其の事もカキテ其の事もカキ
其の事もカキテ其の事もカキテ其の事もカキ
其の事もカキテ其の事もカキテ其の事もカキ
其の事もカキテ其の事もカキテ其の事もカキ
其の事もカキテ其の事もカキテ其の事もカキ

トカキテ其の事もカキテ其の事もカキ
其の事もカキテ其の事もカキテ其の事もカキ
其の事もカキテ其の事もカキテ其の事もカキ
其の事もカキテ其の事もカキテ其の事もカキ
其の事もカキテ其の事もカキテ其の事もカキ
其の事もカキテ其の事もカキテ其の事もカキ

一、其の事もカキテ其の事もカキテ其の事もカキ
其の事もカキテ其の事もカキテ其の事もカキ
其の事もカキテ其の事もカキテ其の事もカキ
其の事もカキテ其の事もカキテ其の事もカキ
其の事もカキテ其の事もカキテ其の事もカキ
其の事もカキテ其の事もカキテ其の事もカキ

漢書卷之九

唐書卷之九

